

文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

「平成27年度文化庁地域の校となる美術館・歴史博物館支援事業」

映画ってどうやって作るの？

驚きと楽しさいっぱいの映画制作ワークショップ

エンパフ

こども映画教室

2015

先生は
これよだ ひろかず
是枝裕和監督！

Totus Mundus Agit Histrionem

11月21日(土)~23日(月・祝)

@早稲田大学演劇博物館



エンパクってなに？



本当のなまえは早稲田大学坪内博士記念演劇博物館っていいです。日本でただ一つ、演劇について専門的に

にあついている博物館です。今から87年も前に建てられたエンパクは建物自体がお芝居の劇場のようになっています。その舞台の正面に書いてあるのは「全世界は劇場なり」というラテン語だそうです。どういう意味でしょう？



こども映画教室ってなに？

こどもたちで映画を観て、みんなで映画の話をしたり、映画のおもちゃを作ってどうして映画って動いて見えるのか学んだり、友だちと協力して映画を作ったりする教室です。映画をつくるときは、監督、脚本、撮影、録音、出演、編集、そして上映も、ぜんぶこどもたちが担当します。映画のことをなんにも知らなくても大丈夫！プロの映画監督や大人スタッフ、チームの友だちとみんなで意見を出し合いながら映画を作っていきます。今回の先生は是枝裕和監督(『そして父になる』『海街diary』)ですよ！3日間で作品を制作、最終日には早稲田大学大隈小講堂で舞台挨拶と上映会をおこないます。

【日程】2015年11月21日(土)～23日(月・祝)／各日10:00～16:30(最終日のみ10:00～18:30)

【会場】早稲田大学演劇博物館、大隈小講堂

【対象】小学生／定員：30名(締め切り前に定員に達した場合は抽選)

【参加費】無料

上映会(一般公開)

【日時】2015年11月23日(月・祝)
16:30～18:30(終了予定)【開場 16:00】
【会場】早稲田大学 大隈小講堂
★予約不要・どなたでもご来場いただけます。

これ えだ ひろ かず

是枝裕和監督プロフィール



1962年、東京生まれ。87年に早稲田大学第一文学部文芸学科卒業後、テレビマニオンに参加。主にドキュメンタリー番組を演出。14年に独立し、制作者集団「分福」を立ち上げる。

主な監督作品に、主演の柳楽優弥がカンヌ国際映画祭で史上最年少の最優秀男優賞を受賞した『誰も知らない』(04)、『歩いても歩いても』(08)、自身初の連続ドラマ『ゴーイングマイホーム』(12)、カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞した『そして父になる』(13)等がある。2015年夏に最新作『海街diary』が公開された。2014年から早稲田大学理工学術院教授。

こどもたちの感想から

最初はチームがバラバラだし、なぞも見つからなくて、本当に映画ができるのか不安でした。でも、途中からチームがまとまってきて、それぞれがいい映画を作ろうとがんばり、最終的に1つの作品ができてよかったです。この3日間は、とても楽しい、いい思い出になりました。(後略)
(小学6年生「こども映画教室@早稲田エンパク2014」みんなの感想文集より)

ぼくがたのしかったことは、カメラやマイクをつかってインタビューしたこと。はじめはしらない人にこえをかけるのがどきどきしたけれどだんだん慣れてきたのしくなりました。あの子どものぞうのいみがわからなかったのがざんねんでしたが冬休みまたしらべてみようとおもいます。
(小学1年生「こども映画教室@早稲田エンパク2014」みんなの感想文集より)



お問合せ・お申込み

早稲田大学演劇博物館 こども映画教室事務局

- ★演劇博物館HP <http://www.waseda.jp/enpaku/>の申込みページよりお申込みください。
- ★応募期間：2015年10月1日(木)10:00～10月16日(金)17:00 ※締め切り前に定員に達した場合は抽選となります。
- ★お問合せ：enpaku-kodomoeiga@list.waseda.jp ★3日間すべての時間帯で参加可能な方のみお申込みいただけます。
- ★ワークショップの参加は原則としてお子さまのみです。保護者の方は、会場までお子さまの送迎をお願いします。
- ★お申込み時にいただく個人情報は、演劇博物館およびこども映画教室の活動のご案内にのみ使用し、第三者への提供、その他の目的には使用しません。

主催：早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 文化庁 地域核と新たな美術館・歴史博物館支援事業「新宿から文化を発信する演劇博物館 実行委員会」

協力：こども映画教室、分福 後援：新宿区教育委員会、新宿区

